

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 フォトロン  
 コード番号 6879 URL <http://www.photron.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 塚田真人  
 (氏名) 竹岡峰夫

TEL 03-3238-2170

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,341	△31.4	69	△84.5	15	△96.8	△44	—
21年3月期第1四半期	1,955	—	448	—	490	—	298	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	△6.08	—
21年3月期第1四半期	40.92	40.83

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	5,149	3,413	63.8	449.90
21年3月期	5,533	3,457	60.1	455.72

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 3,283百万円 21年3月期 3,325百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期	3,100	△18.9	20	△97.5	20	△97.7	10	△98.1	1.37
連結累計期間	6,900	0.7	530	△26.3	530	△43.2	320	△44.9	43.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 7,547,550株 21年3月期 7,547,550株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 250,042株 21年3月期 250,042株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 7,297,508株 21年3月期第1四半期 7,297,508株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年来の景気後退に一部で底入れの兆しが見られ始めたものの、企業収益の回復力は鈍く、生産調整や設備投資の抑制に加え雇用情勢の悪化に伴う個人消費の低迷等により、依然として非常に厳しい状況が続いております。

このような環境の下で、当社グループでは、企業収益の低迷により新年度における足許の研究開発投資などが非常に低調であることから、官公庁や大学関係等を中心とする販売ターゲットの選別等を行い、また販売協力会社との関係強化や、新製品及びバージョン・アップ製品の投入・拡販に向けた準備を行うなど今後の販売戦略の展開に向けた施策に取り組みました。このような結果、連結売上高13億4千1百万円（前年同期比31.4%減）、連結営業利益6千9百万円（前年同期比84.5%減）、連結経常利益1千5百万円（前年同期比96.8%減）、連結四半期純損失4千4百万円（前年同期は連結四半期純利益2億9千8百万円）となりました。

セグメント別の業績

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりです。

①映像情報機器事業

1) Imaging Systems

高速度デジタルビデオカメラにおいて、国内では民間企業の研究開発投資は低調であることから、官公庁や大学関係等を中心に補正予算の執行に向けた営業展開を行い、海外においては前年同期には業績を牽引した欧米市場が世界的な景気悪化の影響から非常に苦戦した一方、アジア市場が中国、韓国などを中心に前年同期を上回る状況となりました。また、今後の民間需要の回復時にも対応できるように、販売代理店との情報交換などによる関係強化や海外市場における競合他社の廉価製品に対応するため販売価格の見直しを行うなどの販売戦略を展開いたしました。このような結果、売上高8億2千4百万円（前年同期比31.9%減）、営業利益1億2千9百万円（前年同期比69.2%減）となりました。

2) Solution Systems

CAD関連製品分野では、前年度第4四半期に開発した(株)リコー推奨の0periusに対応した製品の販売を契機に、同社との協業関係構築による販売体制の強化や、主力製品である図脳RAPIDシリーズにおける、第3四半期以降に投入を予定しているWindows新OS対応のバージョン・アップ製品の開発・マーケティングなど当事業年度全体を見据えた販売戦略を展開いたしました。eラーニング関連製品分野においては、(株)内田洋行とタイアップして製品開発を行い、同社との販売協力をはじめ、補正予算に関わる需要の獲得に注力し、また文教市場以外の企業分野への販売ルートの確保なども行いました。このように第2四半期以降の売上に寄与する施策に重点を置いた結果、売上高1億5千4百万円（前年同期比25.3%減）、営業損失4千8百万円（前年同期は営業損失1千6百万円）となりました。

3) Professional Systems

プロフェッショナル映像機器分野では、放送局等の設備投資は引続き低調ではありますが、スタジオ関係におけるテレビ放送用映像記録装置の需要が一部回復しております。また、デジタルメディアにおけるコンテンツデリバリー・システムや高速度デジタルビデオカメラの放送局向け案件の開拓など今後の販売戦略に向けての施策にも注力いたしました。医用画像機器分野は、装置メーカーとの販売協力体制の強化に加え、海外におけるOEM展開の準備などを行うとともに、核となる新規ターゲットに対しては競合他社との価格競争を征するなどシェア確保に向けた戦略の展開も行いました。このような結果、売上高1億8千8百万円（前年同期比32.1%減）、営業損失1千1百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

以上の結果、映像情報機器事業全体では、売上高11億6千8百万円（前年同期比31.2%減）、営業利益6千9百万円（前年同期比82.9%減）となりました。

## ②LSI開発事業

消費の低迷や設備投資の抑制によるセットメーカーの生産調整の影響を受けておりますが、プロジェクトやフラットパネルディスプレイなど主力のデジタル電気製品市場における採用品目の増加や、新規市場を含めた販売ターゲットの拡大に向けた販売戦略を展開いたしました。このような結果、売上高1億7千3百万円（前年同期比33.2%減）、営業利益0百万円（前年同期比99.4%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は以下のとおりです。

### ①日本

民間企業の設備投資・研究開発投資は非常に低調であることから、今後の補正予算に関する需要に対応できるように、官公庁や学校関係に重点を置いた営業戦略を展開いたしました。また、販売協力会社との関係強化を図り、第2四半期以降投入予定の新製品やバージョン・アップ製品の拡販に向けた施策にも注力いたしました。一方、景気対策による需要に支えられた中国をはじめ、韓国なども底堅く推移し、アジア向けの輸出は好調に推移いたしました。このような結果、売上高8億8千4百万円（前年同期比31.0%減）、営業利益2千5百万円（前年同期比93.2%減）となりました。

### ②北米

昨年来の景気悪化の影響を大きく受け、また競合他社の廉価販売などの影響もあり苦戦いたしました。新製品デモの実施やミリタリ関連の需要の発掘などに注力いたしました。このような結果、売上高1億5千8百万円（前年同期比47.7%減）、営業損失3百万円（前年同期は営業利益3千1百万円）となりました。

### ③欧州

自動車関係などの民間部門は景気悪化の影響により需要の回復は期待しづらい状況が続いているため、大学などの研究機関等を中心とした販売戦略に注力いたしました。このような結果、売上高2億9千7百万円（前年同期比19.5%減）、営業利益2千万円（前年同期比73.8%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### 1)資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.1%減少し、41億8千8百万円となりました。これは、たな卸資産が増加した一方、受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、9億6千1百万円となりました。これは、有形固定資産の減価償却などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて6.9%減少し、51億4千9百万円となりました。

#### 2)負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18.3%減少し、15億3千4百万円となりました。これは、買掛金の減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、2億1百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金の増加などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて16.4%減少し、17億3千6百万円となりました。

#### 3)純資産

少数株主持分を含めた純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、34億1千3百万円となりました。主な減額要因は、利益剰余金の減少であります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、前連結会計年度末に比べて5千9百万円減少し、22億3千9百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### 1)営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は2千1百万円となりました（前年同期は1億6千6百万円使用）。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2千万円、売上債権の減少額5億5百万円などであり、一方支出の主な内訳は、仕入債務の減少額3億6千5百万円、法人税等の支払額1億1千6百万円、たな卸資産の増加額6千1百万円、その他負債の減少額5千7百万円などであります。

#### 2)投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は2千6百万円となりました（前年同期は1千万円獲得）。

これは、主に子会社による定期預金の預入による支出3千万円などによるものであります。

#### 3)財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は7千4百万円となりました（前年同期は9千2百万円使用）。

これは、配当金を7千4百万円支払ったことによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも平成21年5月13日に発表した内容から変更はありません。

また、通期配当見通しについても、平成21年5月13日に発表した内容から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

3 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,269,550	2,298,695
受取手形及び売掛金	838,038	1,270,130
たな卸資産	845,413	771,672
繰延税金資産	101,943	104,684
その他	133,796	110,874
流動資産合計	4,188,742	4,556,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	498,843	498,843
減価償却累計額	△380,176	△376,410
建物及び構築物(純額)	118,666	122,432
機械装置及び運搬具	104,459	100,324
減価償却累計額	△80,999	△81,360
機械装置及び運搬具(純額)	23,460	18,964
土地	337,974	337,974
その他	487,466	489,631
減価償却累計額	△367,659	△355,022
減損損失累計額	△2,236	—
その他(純額)	117,570	134,609
有形固定資産合計	597,671	613,980
無形固定資産		
ソフトウェア	46,163	50,901
その他	7,338	7,367
無形固定資産合計	53,502	58,268
投資その他の資産		
投資有価証券	13,500	9,595
関係会社株式	30,300	30,300
敷金及び保証金	124,284	119,016
繰延税金資産	75,167	76,756
再評価に係る繰延税金資産	21,011	21,011
その他	45,767	48,943
投資その他の資産合計	310,031	305,622
固定資産合計	961,204	977,872
資産合計	5,149,947	5,533,930

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	313,935	651,085
短期借入金	650,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払金	43,381	79,458
未払法人税等	110,302	161,082
繰延税金負債	2,278	2,007
賞与引当金	92,876	42,750
その他	221,865	191,788
流動負債合計	1,534,639	1,878,172
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
長期末払金	48,053	48,053
繰延税金負債	3,985	4,077
退職給付引当金	20,508	19,761
役員退職慰労引当金	75,100	72,682
その他	3,926	3,926
固定負債合計	201,573	198,501
負債合計	1,736,212	2,076,673
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	504,600	504,600
資本剰余金	400,692	400,692
利益剰余金	2,624,868	2,742,216
自己株式	△108,771	△108,771
株主資本合計	3,421,389	3,538,737
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,556	△9,872
繰延ヘッジ損益	△3,066	△12,741
土地再評価差額金	△30,486	△30,486
為替換算調整勘定	△97,110	△159,996
評価・換算差額等合計	△138,219	△213,096
少数株主持分	130,563	131,614
純資産合計	3,413,734	3,457,256
負債純資産合計	5,149,947	5,533,930



(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,955,930	1,341,236
売上原価	795,708	500,831
売上総利益	1,160,221	840,405
販売費及び一般管理費	711,505	770,948
営業利益	448,716	69,456
営業外収益		
受取利息	1,164	2,544
受取配当金	665	297
受取賃貸料	5,671	6,204
為替差益	36,099	—
雑収入	2,338	4,352
営業外収益合計	45,939	13,398
営業外費用		
支払利息	4,349	3,025
為替差損	—	63,951
雑損失	7	4
営業外費用合計	4,356	66,982
経常利益	490,299	15,873
特別利益		
固定資産売却益	3,029	7,327
特別利益合計	3,029	7,327
特別損失		
固定資産売却損	—	366
固定資産除却損	60	34
減損損失	—	2,236
持分変動損失	921	—
特別損失合計	982	2,637
税金等調整前四半期純利益	492,346	20,563
法人税等合計	188,514	64,938
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5,224	△2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	298,607	△44,372

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	492,346	20,563
減価償却費	25,058	24,702
減損損失	—	2,236
持分変動損益(△は益)	921	—
為替差損益(△は益)	9,787	△3,236
退職給付引当金の増減額(△は減少)	747	746
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,255	2,417
賞与引当金の増減額(△は減少)	32,619	50,126
有形固定資産売却損益(△は益)	△3,029	△6,961
有形固定資産処分損益(△は益)	60	34
受取利息及び受取配当金	△1,829	△2,841
支払利息	4,349	3,025
売上債権の増減額(△は増加)	△5,795	505,110
たな卸資産の増減額(△は増加)	△101,643	△61,828
仕入債務の増減額(△は減少)	△210,938	△365,449
その他の資産の増減額(△は増加)	△57,085	△16,434
その他の負債の増減額(△は減少)	△183,586	△57,740
小計	4,236	94,471
利息及び配当金の受取額	1,829	2,841
利息の支払額	△3,252	△2,374
法人税等の支払額	△169,470	△116,828
営業活動によるキャッシュ・フロー	△166,657	△21,890
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△30,156
有形固定資産の取得による支出	△6,983	△8,985
有形固定資産の売却による収入	4,469	17,760
無形固定資産の取得による支出	△802	—
子会社の自己株式の処分による収入	13,802	—
貸付金の回収による収入	560	600
その他	△64	△5,385
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,981	△26,167
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△91,218	△72,975
少数株主への配当金の支払額	△1,002	△1,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,221	△74,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,500	62,779
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△232,397	△59,301
現金及び現金同等物の期首残高	2,051,335	2,298,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,818,938	2,239,393

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	映像情報機器 事業(千円)	LSI開発事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
1 外部顧客に対する売上高	1,696,917	259,013	1,955,930	—	1,955,930
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	890	890	(890)	—
計	1,696,917	259,903	1,956,820	(890)	1,955,930
営業利益	405,316	43,400	448,716	—	448,716

## (注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

## 2 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要な製品
映像情報機器事業	Imaging Systems Solution Systems Professional Systems
LSI開発事業	画像処理用LSI

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	映像情報機器 事業(千円)	LSI開発事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
1 外部顧客に対する売上高	1,168,203	173,033	1,341,236	—	1,341,236
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,080	1,080	(1,080)	—
計	1,168,203	174,113	1,342,316	(1,080)	1,341,236
営業利益	69,205	251	69,456	—	69,456

## (注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

## 2 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要な製品
映像情報機器事業	Imaging Systems Solution Systems Professional Systems
LSI開発事業	画像処理用LSI

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
1 外部顧客に対する売上高	1,282,641	303,318	369,970	1,955,930	—	1,955,930
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	533,407	27,049	10,782	571,239	(571,239)	—
計	1,816,048	330,368	380,753	2,527,170	(571,239)	1,955,930
営業利益	368,909	31,448	76,886	477,244	(28,527)	448,716

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米・・・米国

(2) 欧州・・・英国

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
1 外部顧客に対する売上高	884,710	158,651	297,874	1,341,236	—	1,341,236
2 セグメント間の内部 売上高又は振替高	276,293	15,657	3,800	295,752	(295,752)	—
計	1,161,004	174,309	301,675	1,636,988	(295,752)	1,341,236
営業利益又は営業損失 (△)	25,107	△ 3,550	20,142	41,699	27,757	69,456

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米・・・米国

(2) 欧州・・・英国

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	連結
I 海外売上高(千円)	341,387	369,970	88,796	800,154
II 連結売上高(千円)				1,955,930
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.5	18.9	4.5	40.9

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米・・・・・・・・米国、カナダ

欧州・・・・・・・・欧州諸国

その他の地域・・・中国、韓国

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	連結
I 海外売上高(千円)	189,022	297,874	135,348	622,245
II 連結売上高(千円)				1,341,236
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.1	22.2	10.1	46.4

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米・・・・・・・・米国、カナダ

欧州・・・・・・・・欧州諸国

その他の地域・・・中国、韓国

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	生産高(千円)	前年同四半期比 (%)
映像情報機器事業		
Imaging Systems	632,811	△ 18.5
Solution Systems	123,492	+ 9.6
Professional Systems	18,294	+ 993.7
LSI開発事業	174,108	△ 33.0
合計	948,707	△ 17.6

(注) 1 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当社グループは見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同四半期比 (%)
(製品)		
映像情報機器事業		
Imaging Systems	754,129	△ 31.4
Solution Systems	108,949	△ 30.8
Professional Systems	49,722	+ 139.6
LSI開発事業	173,033	△ 33.2
製品計	1,085,834	△ 29.4
(商品)		
映像情報機器事業		
Imaging Systems	70,652	△ 36.9
Solution Systems	45,896	△ 8.0
Professional Systems	138,853	△ 46.0
商品計	255,402	△ 39.0
合計	1,341,236	△ 31.4

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。